第 83 号　　平成 30 年 3 月 15 日発行

こうれんふくい

もくじ

最強寒波を乗り越えて
勝山市鹿谷地区・遅羽地区……1
第 28 回福井県公民館前期セミナー……2・7
平成 29 年度表彰者・広報紙コンクール受賞館・
平成 30 年度事業予定……3
第 67 回福井県公民館大会……4～5
こうれんトピックス……6・8

最強寒波を乗り越えて（勝山市鹿谷地区・遅羽地区）

中村館長の背丈ほどもある積雪！

今年 2 月、福井県は「五六豪雪」以来 37 年ぶりとなる記録的な大雪に見舞われました。

勝山市では市街地における最大積雪量 204cm(2 月 8 日)を観測。鉄筋コンクリート建てのため通常は屋根の雪おろしを行わない公民館でも、利用者の安全のため、落雪を防ぐ措置が取られました。

また、1 月中旬の寒波の影響で既に給水制限や断水となっていた地域では、給水車による水の供給も行われました。給水制限が完全に解除されたのは、2 月 26 日のことでした。

鹿谷公民館の屋根雪おろし

遅羽地区では公民館に給水車が設置され、職員が配布用のポリタンクや給水パックに水を詰めたり、各家庭に配達する等の対応に追われました。

第28回福井県公民館前期セミナー報告

映画を使った地域づくり

期日：平成29年7月13～14日
会場：坂井市春江中コミュニティセンター

今年度の前期セミナーのテーマは、「映画を使った地域づくり」。脚本家の栗山宗大氏を講師としてお招きし、脚本作りから撮影方法、魅力ある講座の作り方を学びました。

1日目のメインは、映画「ふるさとがえり」上映会です。とある事情で映画の助監督を辞めて帰郷した主人公は、久しぶりに再会した幼なじみや地元の人たちと触れ合う中で、新しい人生を模索していきます。しかし、そんな彼に夢であった映画監督としてデビューするチャンスが舞い込んで来ます。ふるさとと夢、葛藤の末に主人公が選んだのは…。というのがあらすじなのですが、帰郷した主人公が新しい人生を模索する現代と、20年前の主人公の少年時代が交互に描かれます。久しぶりの帰郷で周りの人との接し方に戸惑う主人公と、明るく仲間に囲まれ、まさに天真爛漫といった少年時代の主人公との対比が見事で、参加者は映画の中に引き込まれていました。

講師は脚本家の栗山先生
（ものがたり法人 FireWorks 取締役）

上映後は栗山先生、越前市神山公民館長の川上氏、研修専門委員長の野辺氏の3人でのトークセッションがあり、市民参加型の映画を作るに至った経緯や撮影の裏話、また神山地区での映画制作活動について話し合われました。

全国で1,300回以上も上映されている
映画『ふるさとがえり』

トークセッション
（右から栗山先生、川上氏、野辺氏）

トークセッションの後は、さっそく映画づくりを行うグループに分かれて、オリエンテーション。初めて顔を合わせるメンバーがほとんどで、この段階では『本当に映画なんてつくれるんだろうか・・』と心配だった方々も多かったようです。

1日目から
グループワークに入ります！

交流会はあわら市のまつや千千に会場を移して行われました。ここでもグループごとのテーブルで交流を深め、翌日の映画づくりに向けて、準備も万端（!?）

◇　◇　◇

2日目のメインは、ミニ映画づくりと上映会です。起承転結を意識しすぎないという脚本作りのコツや、ビデオカメラは動かさないという撮影に関するコツなどを教わったあと、脚本作りがスタートしました。

9つのグループに分かれ、栗山先生から与えられた「殻をやぶる」という共通テーマと、それぞれのグループごとの個別テーマを基に、みんなで意見を出し合い、アイデアを形にしていきます。自分だけでは思いつかないアイデアが他の人から出ると、一人ではなくみんなで考えるからこそ良いものが生まれるのだとわかります。

（7ページへ続く）

いよいよ映画づくり！！

平成 29 年度表彰受賞者

（敬称略）

東海北陸公民館大会表彰

福井市文殊公民館主事	中村　美沙子
越前市味真野公民館主任主事	富坂　妙子

全国公民館連合会永年勤続職員表彰

福井市木田公民館主事	黒田　幸江
福井市足羽公民館主事	尾﨑　朋子
福井市順化公民館主事	山口　さゆみ
福井市社南公民館主事	真柄　麻美
福井市岡保公民館主事	服部　歩未
福井市中藤島公民館主事	岡島　真澄
福井市大安寺公民館主事	大林　まり子
福井市六条公民館主事	安丸　琴絵
福井市東郷公民館主事	髙嶋　町子
大野市五箇公民館主事	山本　由紀子
越前市大虫公民館主事	山本　智子

福井県公民館連合会表彰

福井市足羽公民館主事	島津　智子
福井市松本公民館主事	吉川　美栄子
福井市和田公民館主事	髙瀬　良美
福井市上文殊公民館主事	山本　美恵子
小浜市内外海公民館主事	田中　千秋
あわら市吉崎公民館事務員	板谷　和美
坂井市加戸・公園台コミュニティセンター職員	金崎　千鶴
坂井市春江東コミュニティセンターセンター職員	西畑　昌代
永平寺町松岡公民館館長	堀江　俊子

平成 29 年度広報紙コンクール受賞館

Aコース

【最優秀賞】福井市木田公民館　『きだより』
【優秀賞】越前市坂口公民館　『夢 navi さかのくち』
若狭町三宅公民館　『公民館だより　みやけ』
【優良賞】福井市森田公民館　『もりたねっと』
若狭町西田公民館　『西田公民館だより』
若狭町野木公民館　『公民館だより　野木の里』

Bコース

【最優秀賞】若狭町三方公民館　『みかた公民館だより』
【優秀賞】鯖江市片上公民館　『公民館報「文殊」』
越前市味真野公民館　『安冶麻野（あじまの）』
【優良賞】鯖江市北中山公民館　『公民館だより「北中山」』
越前市吉野公民館
『よしの地区だより「よしのせがわ」』
越前市南中山公民館　『こふじ』

今年度から紙面が６ページ以上の「Ａコース」と、それ以外の「Ｂコース」の２つの部門に分けて開催しました。

福井県公民館連合会　平成 30 年度事業予定

(1)福井県公民館連合会総会

期　日　平成 30 年 5 月 30 日(水)
会　場　福井県生活学習館

(2)福井県公民館セミナー

［前期］期　日　平成 30 年 7 月 5 日(木)･6 日(金)
会　場　未定
［後期］期　日　平成 30 年 12 月
会　場　福井県生活学習館

(3) 公民館広報紙コンクールの実施

8 月下旬応募締め切り
9 月上旬審査会

(4) 第 68 回福井県公民館大会

期　日　平成 30 年 11 月 13 日(火)
会　場　鯖江市嚮陽会館

(5) 第 40 回全国公民館研究集会東京大会

期　日　平成 30 年 11 月 1 日(木)･2 日(金)
会　場　東京都　日本青年館
参加費　3,000 円

ふるってご参加ください！

※　平成３０年度は東海北陸ブロックの大会はありません。

第67回福井県公民館大会

平成29年9月20日(水)　敦賀市 プラザ萬象

表彰式

江岸会長のあいさつ

ソプラノデュオ　つるがーる♪

敦賀市長　渕上隆信氏

第67回福井県公民館大会は敦賀市プラザ萬象にて「学びを通じた地域づくり」をテーマに開催され、県内各地から公民館等関係者約300人が一堂に集いました。

開会のあいさつでは江岸会長が、市制80年を迎え、北陸新幹線開業に向けて非常に活気のある敦賀市においてこの大会が行われることへの敬意と謝意を表しました。また近隣の県を見ても公民館を取り巻く状況は大変厳しい状況にある中で、私達は公民館が地域の住民にとってなくてはならない存在となるよう日々精進していかなくてはならない、と会場に呼びかけました。

表彰式では福井県公民館連合会表彰が9名、広報紙コンクール12館、福井県公民館連合会表彰9名の表彰が行われました。続いて県教育長松田健志教育振興監をはじめ、来賓の方々よりお祝いや歓迎の言葉をいただきました。

閉会の後、広報紙コンクール審査委員長の加藤福井新聞社編集局メディア整理部長からコンクールの総評がありました。

記念講演では、様々なジャンルの〝人間関係学〟のパイオニアとしてご活躍の人材育成コンサルタント三好良子先生をお迎えして、「人間力&関係力を磨くレシピ」というテーマで講演をいただきました。先生は〝いいとこさがしの達人〟になって、人と人の間を豊かにする術について、「相手がどう受けとったかを確認する事が重要」と語り、キーワードとして「やる気・勇気・根気」の3つの〝気〟を挙げました。自分にゆとり・さとりを持つ事、どんな状態であっても生き抜く人間力を磨き、他者の意見に耳を傾ける事が重要であり、それによって今の自分も、未来の自分も変える事が出来るとお話されました。会場に降り立って参加者に直接問いかける場面では様々な意見が引き出され、学びの多い講演となりました。

講師　三好良子先生

平成 28 年度文部科学省優良公民館事例発表

福井市和田公民館

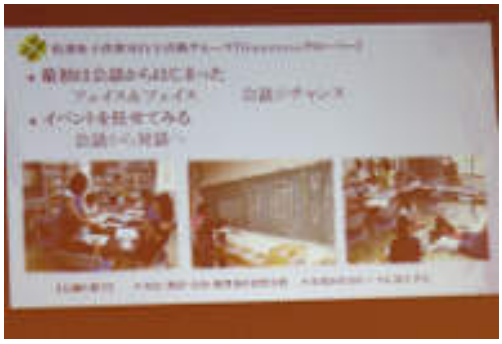
上野正代主事

“くちパク博士”こと、北島喜一館長

くちパク和いわい劇団の方々も
発表に駆けつけてくださいました。

越前市大虫公民館

女性学級「OJ 課」



放課後子供教室自主活動グループ
「Happiness クローバー」について

石山勇夫館長

山本智子主事

昼食をはさみ、午後からのアトラクションではソプラノデュオつるがーる♪によるミニコンサートが行われ、童謡を含む全7曲を鑑賞しました。澄んだ美しい歌声に会場は魅了され、優雅なひとときを楽しみました。

さらに、平成28年度文部科学省優良公民館に選出された福井市和田公民館と越前市大虫公民館の事例発表が行われました。和田公民館は特色のある教育事業として「くちパク和いわい劇団」を立ち上げたいきさつについて、くちぱく博士から説明がありました。この劇団は、セリフをそれぞれのキャストがテープに録音し、その音声に合わせてオーバーな身振り・手振りで演じるものです。地区の歴史を寸劇で次世代に伝承することで、郷土への愛着を深めてもらうことを目的としています。また越前市大虫公民館は子どもの自主活動グループと女性学級の取り組みの経過と現状をユーモアあふれる話術で会場を笑いに包みました。いずれの事例発表も地域の特色を活かしながら、子どもたちや地区の方々を上手に地域参画へと促す事業に結び付けていました。

こうれんトピックス

優良公民館受賞館決定！

第70回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）に、福井県からは福井市木田公民館、鯖江市北中山公民館が選ばれ、3月8日(木)に文部科学省において開催された表彰式において表彰されました。おめでとうございます。

また鯖江市北中山公民館は優秀館として選ばれ、事例発表を行い、その模様はインターネット上で、全国公民館振興市町村長連盟のサイトの特設ページから生中継で配信されました。

鯖江市北中山公民館　杉本主事、重野主事、森本館長
福井市木田公民館　江岸館長、黒田主事

優秀館として
表彰を受ける森本館長

全国公民館セミナーに参加して

平成30年1月31日(水)～2月1日(金)の３日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、「第29回全国公民館セミナー」が開催されました。

セミナー２日目には、今年度、福井県公民館前期セミナーにも講師としてお招きした栗山宗大氏による「ものがたりづくり」のワークショップが行われました。なお、このワークショップには福井市社北公民館の田中主事もゲストスピーカーとして出演されました。

社北公民館 田中主事

以下に、セミナー全日程に参加された研修専門委員の方の感想を紹介します。

坂井市鳴鹿第２コミュニティセンター　竹内和美さん

研修当日の東京では、何年ぶりかの雪が降り肌寒い感じがした中で、今年度の全国公民館セミナーへ参加してきました。

「公民館がひらく地域の未来」という大きな研修テーマがあり、そのテーマに沿って大学教授、教育支援代表理事、大学学科長といった講師陣らが自身の活動の経験と知識を事例にあげ、“これからの公民館は社会教育の場であると同時に地域作りの拠点である。そのためには地域のネットワーク作りのためのコーディネーターとして、行政に任せるだけでなく地域住民と一緒に地域づくりを行うことが重要だ”と話されていました。またこれからの公民館の持つべきビジョンや社会教育主事制度の見直し、コミュニティセンター化についての話もありました。他には情報交換会・講演・特別映画・事例発表・ミニシンポジウムと慌ただしくバタバタしっぱなしではありましたが、どの内容も大変興味深く、気が付けばあっという間の３日間だったと思います。

今回は全国公民館セミナーへ参加させていただきありがとうございました。この３日間で学んだことを今後の職務に生かせるよう励んでいきたいと思います。ありがとうございました。

（2ページより）

そして撮影に。各グループに1つずつタブレットが配られ、ビデオカメラとして使用しました。撮影のために、会場のコミュニティセンターだけではなく、近くのショッピングセンターや公園にまで足を運ぶグループもありました。

映画完成後は、各グループの映画をみんなで鑑賞です。どの映画も工夫とおもしろさがあり、内容は真面目なものから喜劇的なものまで様々。自分たちの作った映画が上映されれば、周りの反応に気を配ります。他のグループの映画が上映されれば、参考になる点に感心したり、おもしろさに思わず笑ってしまったりと、有意義で楽しい時間を共有しました。

初対面のメンバーと一致団結し、限られた時間の中で作品を作り上げることで、これまで経験したことのにない達成感を味わうことができ、実りの多い二日間となりました。

タブレットを使いこなして…

思い思いの場所で撮影です！

「へ～んしん！！」

無事に全グループの作品が
上映会に間に合いました。

『嫁子』～！
（主演女優賞です。）

第1回　県公連映画祭グランプリは
“未来工房（Gグループ）の
『プロポーズ大作戦』！名作です!?

◇セミナー参加者の感想より◇

私は、今回のセミナーの研修内容が映画作りだと知ったとき、難易度が高そうだと思いました。何しろ、映画作りの時間は3時間だけです。いくら撮影時間の短いミニ映画といっても、素人の集まりが作れるものだとは思えませんでした。私以外の人たちも、きっと同じように考えていたのではないでしょうか。

しかし、実際に撮影を行ってみると、全てのグループが時間内に映画を完成することができました。しかも、時間に追われて内容を犠牲にしたグループはありません。まさに「案ずるより産むが易し」。

また、印象的だったのは、終了後に楽しかった、こんな研修だったらまた参加したい、といった声があちこちから聞こえてきたことです。普段なかなかできない貴重な体験ができました。企画、運営に携わった研修専門委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

二日間のセミナー、お疲れ様でした！！

こうれんトピックス

東海北陸公民館大会（石川大会）本県から151名が参加

アトラクション「加賀鳶梯子登り」

平成29年10月19日～20日、「人づくり・地域づくりに貢献する公民館　～地方創生の担い手としての公民館を目指して～」をテーマに、第39回全国公民館研究集会・第54回東海北陸公民館大会・第69回石川県公民館大会が石川県金沢市で開催されました。ブロックの公民館大会が全国公民館研究集会を兼ねるようになって2回目の開催となったこの大会には、東海北陸各県をはじめ東北や九州地方からの参加者も含め1,279名が集いました。

アトラクションの伝統芸能「加賀鳶梯子登り」で全体会が始まり、表彰式では本県から東海北陸公民館大会表彰で2名、全国公民館連合会永年勤続職員表彰で11名の方々が受賞されました。

文部科学省生涯学習政策局社会教育課課長の八木和広氏による施策説明の後、鈴木大拙館館長の木村宣彰氏による記念講演「世界人としての日本人～鈴木大拙の行き方に学ぶ～」がありました。金沢市本多町出身の大拙は東洋や日本の文化・考え方を世界へ紹介するのに貢献した人物で、没後半世紀が経過した現在も人々に感銘を与え続ける彼の思想や生き方についてのお話をお聞きし、自分自身の生き方を見つめなおす良い機会となりました。

鈴木大拙館館長の木村氏

2日目の分科会では第1分科会において、永平寺町志比南公民館館長の大関政英氏が『「み～んな顔見知り」を目指した公民館活動』と題して発表されました。大関氏の就任前は休止状態に近かった公民館でしたが、環境整備から多彩な活動の展開まで、館長自らの豊富なアイデアと軽快なフットワークで精力的に取り組まれている様子を発表され、参加者は熱心に聞き入っていました。

また第3分科会では参加者が金沢市内の3つの公民館へ出向いて研修・交流を行う「現地交流分科会」が持たれたのも今大会の特色でした。これまでにない形式の分科会に、本県からも多数の参加者が海、山、街の各会場を訪れました。どの会場でも地域の実情やそれぞれの特性を生かした活動内容の発表があり、今後の課題解決に向けて活発に研究討議がなされていました。

第1分科会　大関氏による発表

「こうれんふくい」第83号
≪発行≫　福井県公民館連合会
〒918-8135　福井市下六条町１４－１
福井県生活学習館２階
TEL/FAX（0776）41-4077
E-mail　f-kouren@kore.mitene.or.jp

≪編集≫　広報紙委員会
福井市清水北公民館　吉田　美絵
あわら市中央公民館　佐川　隆紀
越前市服間公民館　椿原　香織
福井県公民館連合会事務局